

2021年度上期 助成金交付先

< 1 > 新日本繊維 株式会社 （本社：我孫子市）

< 2 > ミラックスセラピューティクス 株式会社

（本社：東京都千代田区、研究所：千葉市中央区）

< 3 > 株式会社 トライアングルプロダクツ （本社：柏市）

< 4 > 株式会社 Seaside Consulting （本社：安房郡鋸南町）

< 5 > 株式会社 ヘルパーリンク （本社：千葉市花見川区）

※ 申請受付順に記載

< 1 >

交 付 先 新日本繊維 株式会社（本社：我孫子市）

代 表 者 代表取締役 深 澤 裕

業 種 製造業、新素材の研究開発

事業・研究開発概要

【 反物質を活用した放射線遮断無機組成物の開発 】

当社は、石炭火力発電所から排出される石炭灰を主原料とした連続長繊維の生成に世界で初めて成功した。この繊維化技術により、石炭灰を高付加価値工業製品の原料として活用する道が拓かれつつある。本技術は、SDGsの実現に寄与することから、NEDOのカーボンリサイクル事業（2021～2023 年度）として採択されている。

また、この無機繊維に、特定の元素、同位体を固溶させることで、中性子線およびガンマ線を高効率で遮断させる繊維の生成に成功した。遮蔽能力は、鉛繊維の 2500 倍以上であり、月面探査時に用いる宇宙線遮蔽素材として着目されている。

当社開発の連続長繊維は、高レベルの放射線量の照射に対してほとんど劣化しないが、この「劣化しないメカニズム」を根源的に理解するためには、原子一個レベルで、その存在・結合状態を把握する必要がある。

原子一個レベルの状態を把握するには、「陽電子」という反物質を用いた検査・測定を行う必要があり、当社では、量子科学技術研究開発機構と共同で、新たな測定装置を開発した。しかし、この測定装置は放射線管理区域で稼働させるもので、使用条件に大きな制限が生じている。

かかるなか、本プロジェクトでは、放射線管理区域外で使用できる「携帯型陽電子消滅実験装置」を開発する。

大手紡糸メーカーの工場等において、繊維の品質検査を原資レベルで行えるようにすることで、検査・測定業務の円滑化、事業化のスピードアップを図っていく方針。



< 2 >

交 付 先 ミラックスセラピューティクス 株式会社（本社：東京都、研究所：千葉市）

代 表 者 代表取締役 伊 庭 英 夫

業 種 製造業、医療用医薬品の研究開発

事業・研究開発概要

【 D P F タンパク質阻害薬の開発 】

当社は、千葉大学発のバイオベンチャー企業。

千葉大亥鼻イノベーションプラザ内の自社研究所で、医薬品開発のための研究を実施するとともに、千葉大学真菌医学研究センターに設置されている大学との共同研究部門で、分子機構の基礎的解析や予備的な動物実験を行っている。

当社代表らは、これまでの大学での研究で、D P F タンパク質が、N F - κ B の活性化において重要な役割を果たしていることを発見した。N F - κ B は、炎症・免疫・がん等に広く関与する重要な転写因子であり、多くの製薬会社がこの転写活性化を阻害する医薬品の研究を進めてきたが、いまだ開発には至っていない。

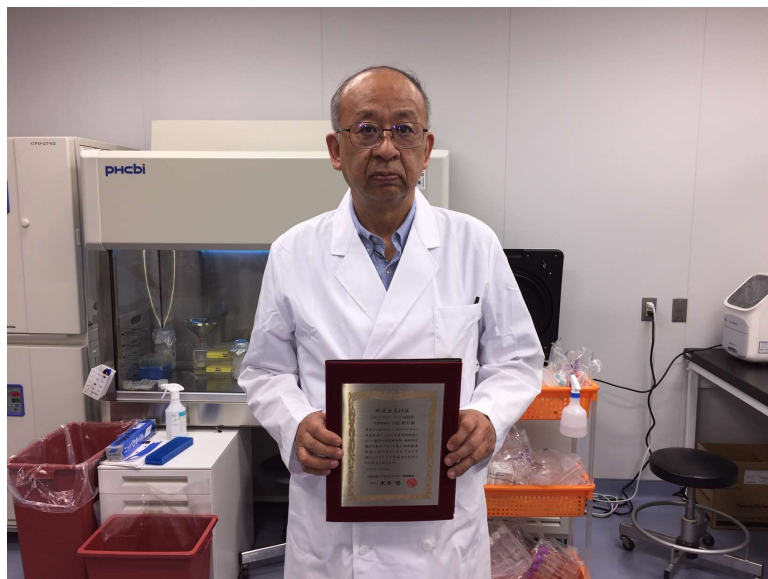
本プロジェクトでは、N F - κ B の活性化を抑えるため、このD P F タンパク質の機能を阻害する医薬品の開発を目指す。

当社は、これまでAMEDの支援のもと、大手製薬会社の低分子化合物ライブラリー（約40万種）を用いたスクリーニングを実施。その結果、D P F タンパク質に結合して、N F - κ B の転写活性化を効率よく阻害するヒット化合物の単離に成功している。

今後は、培養細胞を使ったスクリーニングで、ヒット化合物やその誘導体の生物活性を評価、最適の適応症を絞り込み、医薬品開発の方向性と導出先を決定していく方針。

適応症については、多くが考えられるなか、当社では、特に、①サイトカインストーム、②悪性腫瘍、③線維性疾患の3病態に対する医薬品の開発を念頭に置いている。

※ 助成金のほか、家賃補助金（入居施設：千葉大亥鼻イノベーションプラザ）を交付



< 3 >

交 付 先 株式会社 トライアングルプロダクツ（本社：柏市）

代 表 者 代表取締役社長 橘 理 絵

業 種 製造業、医療用ソフトウェア及びハードウェアの製造販売

事業・研究開発概要

【 小線源治療における高精度ゲル線量計測定システムの開発 】

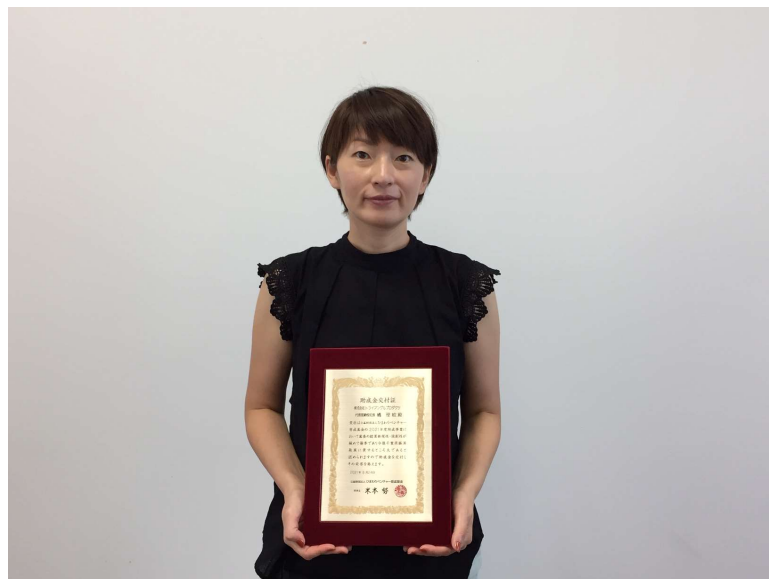
放射線治療は、外科手術、抗癌剤治療とともに、癌治療の三本柱であり、外科手術に比べて低侵襲で、治療部位や癌のステージによっては、治療成績も同等である。放射線治療は「見えない」放射線を体内の癌に集中させて癌を消滅させる。一方、この「見えない」放射線のコントロールには、知識と経験が必要であり、病院間で差が生じている。現に、放射線管理の誤りに起因した放射線治療事故も発生している。

当社は、こうした事故の発生を防ぐための方法の一つとして、小線源治療の放射線量（吸収線量）などを測定するゲル線量計に注目し、このゲル線量計の利用が小線源治療の正確性の測定を可能にし、第三者調査に利用できるのではないかと考えた。

ちなみに、放射線を発生させる物質を癌の近くに停留させ治療を実施する小線源治療の第三者郵送調査は、国内および海外でも提供されていない。

当社では、国立がん研究センター東病院を中心に、多施設（国内 35 施設）で試験を実施し、ゲル線量計を利用したこの方法の有効性を確認している。一方、この多施設試験を経て、ゲル線量計測定システムの新たな課題が判明した。

本プロジェクトでは、その課題を解消し、品質の高い第三者調査を可能にするゲル線量計システムを開発する。具体的には、ゲル線量計の新規容器の開発、ゲル線量計の解析ソフトウェアの開発を行う方針。



< 4 >

交 付 先 株式会社 Seaside Consulting (本社：安房郡鋸南町)

代 表 者 代表取締役 平 野 彩

業 種 陸上養殖業、陸上養殖のコンサルティング

事業・研究開発概要

【 国内初、農地を活用した環境配慮型バナメイエビ陸上養殖事業 】

当社は、千葉県より、農地を活用した海水魚陸上養殖の許可を得て、安房郡鋸南町において、国内初の休耕農地（農業用ハウス）を活用した大衆海水魚（バナメイエビ）の陸上養殖に取り組んでいる。

現在、国内消費されているエビの大半は輸入（冷凍）で、ブラックタイガー、バナメイエビ、アルゼンチン赤エビなどがある。このうち、当社が手掛けるバナメイエビは、クルマエビ、ブラックタイガーと近親種でありながら、効率的な飼育（養殖）が可能であり、世界的には多く生産されている。

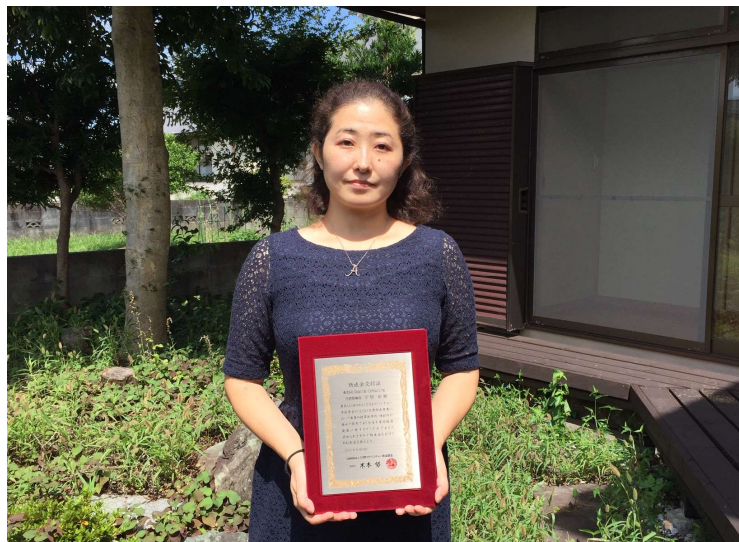
当社では、こうした輸入商材（冷凍）に対し、「国産（生産者が見える）」「無添加飼育」による「安全性」と、「活」「生」という「付加価値」等で、差別化を図っていく方針。

なお、鋸南町での本格取り組みに先立ち、兵庫県で小規模なプラント実験を実施。このプラントで養殖したバナメイエビ（活、生）は、中堅スーパーマーケット、回転寿司店から好評を得ている。

現在は、鋸南町の農業用ハウスに水槽を設置し、海水を引き入れた段階。今後、タイから稚エビを輸入して養殖を開始、今年度中の初出荷を目指している。

また、養殖に関しては、東京海洋大学の助言等を受け、日々、養殖技術の改善を行っている。

本事業については、鋸南町役場、地元農家、地元水産卸売業者、水質改善機器メーカー、稚エビ輸入業等、多くの賛同・支援を得ている。



< 5 >

交 付 先 株式会社 ヘルパーリンク（本社：千葉市花見川区）

代 表 者 代表取締役 樋 谷 祐 希

業 種 サービス業、オンラインヘルパーリンクマッチング事業

事業・研究開発概要

【 ご近所さんが家族に代わって見守り代行！

スマホ一つで繋がる、コロナ禍でも安心の、離れて暮らす親の様子が届くサービス 】

当社は、2019 年より、千葉市内において、「日常生活にサポートが必要な高齢者」と「空いた時間で高齢者のお手伝いを仕事とする登録制サポーター」をマッチングするサービスの提供を行っている。

当社では、多様化する高齢者ニーズに幅広く対応すべく、介護保険制度の認定度を問わない「介護保険外サービス」に特化。サポーターは、介護専門サービス以外の部分を支援するため、特別な資格は不要で、自身が持つスキルを活かした高齢者支援が仕事となる。現在、千葉市内において年間 6,000 件を超える利用があり、延べ利用者は 300 人以上、登録サポーターは 700 名を超えている。このほか、地道な活動の積み重ねによって、千葉市内のケアマネージャー200 名（全体の 65%）との連携網を構築している。

こうしたなか、当社は、昨今のコロナ禍で、離れて暮らす高齢の親と会うことのできない家族が増えており、親を見守って欲しい、親の日々の生活の様子が知りたい等の需要が高まっていることに着目。

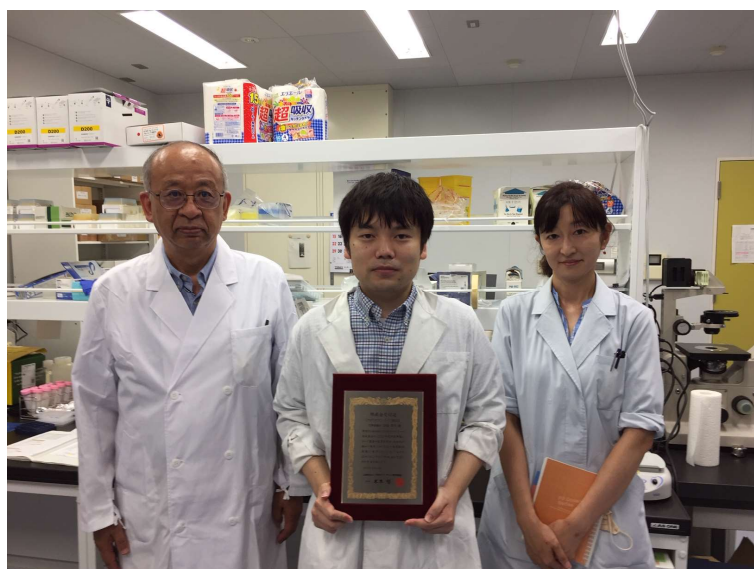
本プロジェクトでは、こうした需要に対応すべく、登録サポーター（近所の主婦等）が、家族に代わって高齢者の見守りを行い、その報告を離れて暮らす家族にリアルタイムで知らせる「家族間専用のオンライン掲示板サービス」の提供を開始する。掲示板サービスには、ケアマネージャーの参加も可能で、「利用者本人・家族・ケアマネージャー」がサービスを共有することで、コロナ禍で人と人とのコミュニケーションが取り難くなるなかでも、様々な角度から高齢者への手厚い支援を実現することを目的としている。



<スナップ写真>



新日本繊維 株式会社 深澤 代表取締役 (左)
山口 研究員 (中)
小谷 社員 (右)



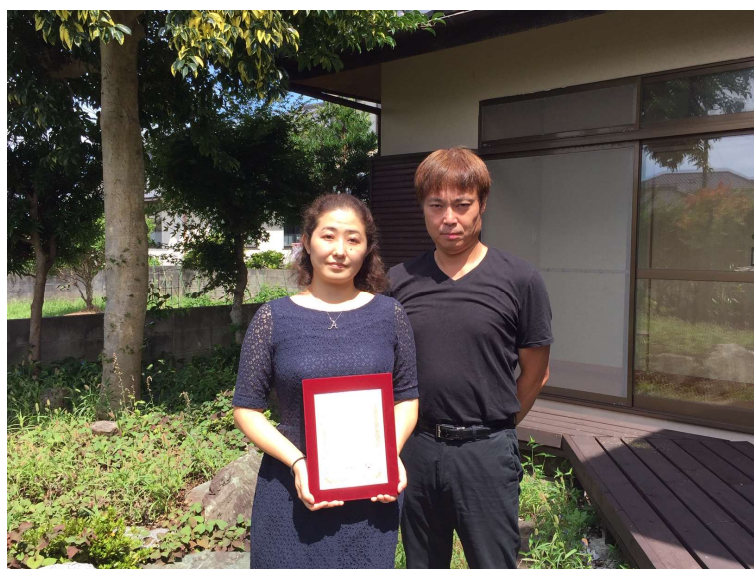
ミラックスセラピューティクス 株式会社
伊庭 代表取締役 (左)
小林 研究員 (中)
野村 研究員 (右)



(左から)

東葛テクノプラザ 森 所長

株式会社 トライアングルプロダクツ 橘 代表取締役社長



(左から)

株式会社 Seaside Consulting 平野 彩 代表取締役

平野 雄晟 代表取締役